

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0265
 評価年度 令和 3年度
 所属 1303
 事務事業番号 00759

進捗区分 評価完了
 都市計画部都市計画課
 都市景観形成推進事業

所属長名 松邨 友則
 記入者 中村 貴子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	
施策	018	古都にふさわしい景観づくり	
取組の方向性	001	次代に引き継ぐ景観づくり	
事務事業	001	都市景観形成推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	景観法・古都保存法・都市計画法（風致地区）等		

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>古都大津にふさわしい景観づくりを推進するため、景観法や古都保存法等の法令による規制、誘導を行うとともに景観審議会を開催し、その意見を景観施策に反映している。また、良好な景観形成に対する市民意識を高めるため、景観絵画展を開催し、入賞作品展を行うとともにブックカバーを市内書店にて配布している。令和3年度からは、第2次大津市景観計画の策定に向けて検討を進めている。</p>
------	---

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>人口減少による社会情勢の変化や太陽光発電設備の設置に伴う景観面での問題等、景観行政を取り巻く環境が変化してきている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成23年度一部地域で新たな高度規制を実施。平成30年度「都心景観路」を景観計画に追加。令和3年度景観計画改定に向けた基礎調査により、景観づくりの効果の検証、市民アンケートを実施。</p>
----------------------	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	豊かな自然的景観・風格ある歴史的景観及び自然・歴史と調和した都市景観
目的(何のために)	良好な景観の保全と新たな都市景観の創造を図るため
手段(どのようなやり方で)	市民向けの景観絵画展による良好な景観形成意識を醸成するとともに、景観法や古都保存法等の法令に基づく規制誘導により古都大津の美しく風格ある景観づくりを推進する
成果(どのような状態にするのか)	古都大津にふさわしい風格ある景観が実現されている

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,220	23,405	30,332	34,302	24,710	20,212	20,212
事業費	1,866	6,354	11,861	15,831	6,239	1,741	1,741
国庫支出金	0	2,386	5,088	7,074	2,278	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,866	3,968	6,773	8,757	3,961	1,741	1,741
人件費計	13,354	17,051	18,471	18,471	18,471	18,471	18,471
事務・技術(人)	1.55	2.05	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.21	0.21	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0265
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1303 都市計画部都市計画課
 事務事業番号 00759 都市景観形成推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-31-00-01-00	都市景観形成推進事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 景観計画区域内 行為届出又は事前協議 件数	件	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(活動) 市民啓発事業等 の開催数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
(活動) 景観絵画展への 作品出展数	点	300.00	300.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
(成果) 適合通知率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	法令や条例に基づく規制誘導や市民啓発は市が担う必要がある。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	良好な景観形成が推進できている。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	景観計画であるべき景観像を明確にして規制誘導や啓発を実施		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	景観づくりにおいて長期的な事業の継続は有効である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	法令に基づく適正な規制誘導及び効果的な啓発事業を継続実施し、良好な景観の形成及び保全を推進する。 また、平成18年に策定した大津市景観計画は、策定後15年が経過しているため、令和4年度から令和6年度までの3カ年をかけて、第2次大津市景観計画を策定する。第2次大津市景観計画策定にあたっては、社会情勢の変化や景観に対する市民意識等を踏まえるとともに、令和2年度に策定した、草津市と連携し広域的な景観形成を目的としたびわこ東海道景観基本計画や、歴史まちづくり法に基づく大津市歴史的風致維持向上計画を反映していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	良好な景観は、長期的な取り組みによって保全・形成されることから、今後も引き続き規制誘導や啓発事業に取り組み、自然、歴史及び文化が調和した古都大津にふさわしい風格ある景観の実現を目指していく。 また、平成18年に策定した大津市景観計画は、策定後15年が経過しているため、令和4年度から令和6年度までの3カ年をかけて、第2次大津市景観計画を策定する。第2次大津市景観計画策定にあたっては、社会情勢の変化や景観に対する市民意識等を踏まえるとともに、令和2年度に策定した、草津市と連携し広域的な景観形成を目的としたびわこ東海道景観基本計画や、歴史まちづくり法に基づく大津市歴史的風致維持向上計画を反映していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0266
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1303 都市計画部都市計画課
 事務事業番号 01879 都市計画施策調整事業

所属長名 松邨 友則
 記入者 北村 裕樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025	都心エリアの再生と地域形成				
取組の方向性	002	コンパクトな都市構造の構築				
事務事業	003	都市計画施策調整事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	都市計画法					
事業概要	(事業概要) 誰もが安全・安心・快適に住み続けられるコンパクト+ネットワークのまちづくりを推進していくため、地域拠点・生活拠点の設定をはじめ、拠点に必要な都市機能の明確化、魅力あふれる都心エリアの充実、交通ネットワークの再構築、湖西台地区の土地利用に向けた調査、検討に取り組む。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 平成26から28年度までは大津市都市計画マスタープランを策定、平成29から令和2年度まではコンパクトな都市構造へと誘導する立地適正化計画を策定し、令和3年度以降は、立地適正化計画に整合した都市計画道路網の見直しをおこなっている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市全域を
目的(何のために)	少子高齢化や人口減少社会においても安心、快適に住み続けられるまちづくりのために
手段(どのようなやり方で)	都市計画マスタープランにおける将来都市構造の基本的な考え方に基づく取組を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	コンパクトで質の高い持続可能な都市構造を構築する

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,718	11,012	16,725	22,665	32,665	12,665	12,665
事業費	20,058	1,012	5,125	11,065	21,065	1,065	1,065
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,058	1,012	5,125	11,065	21,065	1,065	1,065
人件費計	10,660	10,000	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
事務・技術(人)	1.30	1.25	1.45	1.45	1.45	1.45	1.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0266
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1303 都市計画部都市計画課
 事務事業番号 01879 都市計画施策調整事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-06-00-17-00	都市計画施策調整事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)学識経験者を含む検討会議数	回	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)D I D地区内の人口密度	人/K㎡	0.00	7,050.00	6,770.00	6,770.00	6,770.00	6,770.00	0.00
		0.00	6,770.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、「コンパクト+ネットワークによるまちづくり」を推進するため、人口推計に整合した交通需要予測、土地利用との整合性等を勘案した都市計画道路網の見直しを引き続き行う。 また、大津市都市計画マスタープランおよび立地適正化計画について、令和5年度は評価と検証を、令和6年度は必要に応じて中間見直しを行う。 湖西台地区については、引き続き土地利用に向けた調査、検討を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	少子高齢化や人口減少社会においても安心、快適に住み続けられるまちづくりのために、都市計画マスタープランに位置付けられた取組や立地適正化計画を推進し、コンパクトで質の高い持続可能な都市構造を構築する。 令和3年度から取り組んでいる都市計画道路の見直しは、都市計画道路の必要性や実現性等を勘案し、都市計画道路の必要性や実現性等を分析し、都市計画審議会や大津市道路網見直しに伴う調整会議などの議論やパブリックコメントを踏まえて検討する。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0267
評価年度 令和 3年度
所属 1303
事務事業番号 01900

進捗区分 評価完了
都市計画部都市計画課
都市景観施策促進事業

所属長名 松邨 友則
記入者 中村 貴子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	018	古都にふさわしい景観づくり				
取組の方向性	001	次代に引き継ぐ景観づくり				
事務事業	002	都市景観施策促進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	景観法、古都大津の風格ある景観をつくる基本条例					

事業概要	<p>(事業概要) 琵琶湖を挟んで互いに眺望し合う関係にある草津市との連携により、近江八景と東海道でつながる広域的景観の保全及び連続性、統一性ある景観の創造を図る。また、景観アドバイス制度による景観まちづくり相談会を実施し、都市機能と景観保全が調和したまちづくりを推進する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 人口減少による社会情勢の変化や太陽光発電設備の設置に伴う景観面での問題等、景観行政を取り巻く環境が変化してきている。 (見直しや改善等の経過) 大津市と草津市は、広域的な観点から良好な景観を保全し、景観を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、景観法第15条に基づき設置したびわこ東海道景観協議会において、令和2年度に景観形成の方向性を示した「びわこ東海道景観基本計画」を策定した。また、令和3年度には市民又は事業者が実施する景観づくりを支援する景観アドバイス制度を創設した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	本市の地域性豊かなまちなみや、自然的・歴史的環境と調和したまちなみ景観					
目的(何のために)	県都としての都市機能と、古都としての景観保全とが調和したまちづくり促進のため					
手段(どのようなやり方で)	びわこ大津草津景観推進協議会やびわこ東海道景観協議会など、草津市との景観連携の取組みや、学識経験者による景観アドバイス制度を実施することで					
成果(どのような状態にするのか)	古都大津にふさわしい風格ある景観が実現される					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,671	19,125	18,270	18,270	18,270	18,510	18,510
事業費	1,060	575	850	850	850	1,090	1,090
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,060	575	850	850	850	1,090	1,090
人件費計	13,611	18,550	17,420	17,420	17,420	17,420	17,420
事務・技術(人)	1.60	2.28	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.16	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0267
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1303 都市計画部都市計画課
 事務事業番号 01900 都市景観施策促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-31-00-03-00	都市景観施策促進事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 草津市との連携会議開催数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		6.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 市民又は事業者への景観づくり支援数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	5.00	5.00
		2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 地域との協議数	回	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地区計画・景観協定等の計画を進める地域数	地域	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	草津市との景観連携では、びわこ東海道景観基本計画を各市の景観計画に反映させるなど、今後も着実に広域的景観形成を推進する。また、景観アドバイス制度では、市民又は事業者が実施する景観づくりを支援し、古都大津にふさわしい新たな景観の創出を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	琵琶湖をはさんで互いに眺望しあう「見る」「見られる」関係にある草津市と連携し、広域的な観点からの景観施策を推進する。 また、景観アドバイス制度により、市民や事業者が実施する景観づくりを支援し、古都大津にふさわしい新たな景観を創造していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0268
評価年度 令和 3年度
所属 1314
事務事業番号 00693

進捗区分 評価完了
都市計画部都市魅力づくり推進課
都市再生拠点施設管理運営事業

所属長名 中井 英紀
記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025	都心エリアの再生と地域形成				
取組の方向性	001	都心エリアのにぎわい創出				
事務事業	002	都市再生拠点施設管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	
事業概要	<p>(事業概要) 明日都浜大津は、市民活動・子育て支援・健康の拠点施設として、まち家オフィス結は、新たなつながりを生み出す拠点施設として管理運営している。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 明日都浜大津は、市民活動・子育て支援・健康の拠点施設として平成18年度にリニューアルし、まち家オフィス結は、まち家を活用したオフィスモデルとして令和元年5月に開設した。 (見直しや改善等の経過) まち家オフィス結は令和元年5月にまち家を活用したオフィスモデルとして開設し、新たなつながりを生み出す拠点として管理運営していたが、業務の効率性を図るため、令和3年度に当該施設機能の一部を旧大津公会堂に移転し、閉鎖した。</p>

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	明日都浜大津及びまち家オフィス結を
目的(何のために)	都心エリア周辺の活力あるまちづくりを目的に
手段(どのようなやり方で)	市民交流、子育て支援、健康施設（明日都浜大津）及び地域交流スペース（まち家オフィス結）として利活用し
成果(どのような状態にするのか)	人と情報が活発に交流する施設とする

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		217,318	211,373	214,565	223,600	206,957	217,830	210,871
事業費		208,485	204,443	208,035	217,070	200,427	211,300	204,341
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		19,049	19,500	19,441	19,295	19,295	19,295	19,295
一般財源		189,436	184,943	188,594	197,775	181,132	192,005	185,046
人件費計		8,833	6,930	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530
事務・技術(人)		0.89	0.75	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.50	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0268
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1314 都市計画部都市魅力づくり推進課
 事務事業番号 00693 都市再生拠点施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-29-00-11-00	都市再生拠点施設管理運営事業費	都市計画部都市魅力づくり推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)明日都浜大津の利活用面積	㎡	14,931.00	14,931.00	14,931.00	14,931.00	14,931.00	14,931.00	14,931.00	
		14,931.00	14,931.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	明日都浜大津は民間需要と行政利用の必要性を保つことが重要			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	まち家オフィス結は感染症の影響もあり、利用者数は減少			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	都心エリアの公共施設の機能のあり方と効率的な配置を再検討			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	都心エリアの活力あるまちづくりに向けた業務の効率性等を見直し			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	明日都浜大津は施設の老朽化が進んでおり、浜大津都市開発㈱等と協議しながら、施設の修繕や改修等、適切な維持管理を行っていく。また、まち家オフィス結は新たなつながりを生み出す拠点として管理運営していたが、業務の効率性を図るため、令和3年度に当該施設機能の一部を旧大津公会堂に移転し、閉鎖した。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	明日都浜大津は、新型コロナウイルス感染症対策を担う保健所機能をはじめ、市民生活に直結する公共施設が多数ある重要な拠点施設として、今後とも適切な維持管理に努める。また、人の交流を促す拠点施設「まち家オフィス結」は令和3年度をもって閉鎖したことから、近接する旧大津公会堂を含め、人の交流を促す拠点施設の効率的・効果的な利活用に努める。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0269
 評価年度 令和 3年度
 所属 1314
 事務事業番号 01898

進捗区分 評価完了
 都市計画部都市魅力づくり推進課
 都市再生活動促進事業

所属長名 中井 英紀
 記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025	都心エリアの再生と地域形成				
取組の方向性	001	都心エリアのにぎわい創出				
事務事業	004	都市再生活動促進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>都心エリアのさらなる回遊性の向上やにぎわいの創出を図るため、官民連携による琵琶湖湖岸等の公共空間の利活用や駅から湖岸、まちなかへの動線づくりを推進していく。</p>
------	---

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>平成30年3月に第2期大津市中心市街地活性化基本計画が終了し、都心エリアのさらなる回遊性の向上やにぎわいの創出を図るための事業を展開をしている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>にぎわいの創出に向けては官民連携による取組が必要であり、令和2年度には公共空間の利活用の実施に向けて、大津駅前公園再整備と中央大通りの改良工事を完了した。</p>
----------------------	---

【事業分析】

対象(何又は誰を)	都心エリア周辺の
目的(何のために)	にぎわい創出を目的に
手段(どのようなやり方で)	駅から湖岸、まちなかへの動線づくりや、公共空間の利活用事業を実施し
成果(どのような状態にするのか)	回遊性を向上させ、にぎわいを創出する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	138,630	27,194	22,767	32,764	32,764	32,764	32,764
事業費	104,848	5,314	3,527	13,524	13,524	13,524	13,524
国庫支出金	13,337	0	0	10,000	10,000	10,000	5,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	91,511	5,314	3,527	3,524	3,524	3,524	8,524
人件費計	33,782	21,880	19,240	19,240	19,240	19,240	19,240
事務・技術(人)	3.97	2.58	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0269
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1314 都市計画部都市魅力づくり推進課
 事務事業番号 01898 都市再生活動促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-29-00-19-00	都市再生活動促進事業費	都市計画部都市魅力づくり推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(成果)琵琶湖観光客入込数	万人/年	163.00	163.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		100.70	76.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	都心エリア周辺の魅力をさらに向上させていくため、地域や関係者の意見を聞きながら、整備が完了した大津駅前公園や中央大通りイベントスペース、琵琶湖湖岸等の公共空間の利活用を多様な主体とともに進め、河川空間と都市空間が融合したまちづくりを進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の流行による新しい生活様式など、時代のニーズを考慮しながら、ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、都心エリア周辺の公共空間を生かしたまちづくりを、地域住民や民間事業者とともに進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0270
 評価年度 令和 3年度
 所属 1314
 事務事業番号 01899

進捗区分 評価完了
 所属長名 中井 英紀
 記入者 浜本 悟史

都市計画部都市魅力づくり推進課
 旧大津公会堂管理運営事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025	都心エリアの再生と地域形成				
取組の方向性	001	都心エリアのにぎわい創出				
事務事業	005	旧大津公会堂管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市旧大津公会堂条例					
事業概要	(事業概要) 平成22年度にリニューアルした旧大津公会堂は中心市街地の拠点施設として、集客交流、まちづくりや地域活動、情報発信の拠点施設として機能するよう、指定管理者制度を活用して、商業施設との一体的な活用と運営に取り組んでいく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成22年度に中心市街地の拠点施設として施設全体がリノベーションされ、2・3階部分は中心市街地のにぎわい創出を目的に、集客交流・まちづくりや地域活動、情報発信の拠点施設として、指定管理者制度を活用し、管理運営している。 (見直しや改善等の経過) 指定管理者からの定期的な事業報告を受け、運営の見直し等を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	平成22年度にリニューアルした旧大津公会堂を
目的(何のために)	都心エリアのにぎわい創出を目的に
手段(どのようなやり方で)	指定管理者制度を活用し、施設1階・地下1階にある商業施設とともに
成果(どのような状態にするのか)	集客交流、まちづくりや地域活動、情報発信の拠点施設として機能させる

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,328	15,436	17,996	18,147	19,647	19,047	15,647
事業費	11,392	11,926	14,486	14,637	16,137	15,537	12,137
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,425	6,980	6,476	6,476	6,476	6,476	6,476
一般財源	4,967	4,946	8,010	8,161	9,661	9,061	5,661
人件費計	3,936	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術(人)	0.48	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0270
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1314 都市計画部都市魅力づくり推進課
 事務事業番号 01899 旧大津公会堂管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-29-00-12-00	旧大津公会堂管理運営事業費	都市計画部都市魅力づくり推進課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)旧大津公会堂テナント数	数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)旧大津公会堂の来場者数	人	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	
		62,921.00	67,738.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	指定管理者制度を活用した管理運営が実施できている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	感染症の影響を受けたが、利用件数や稼働率等、回復傾向にある。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	管理運営業務と一体的ににぎわい創出事業が展開できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	駅からまちなか等を結ぶにぎわい創出施設として機能している。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後もまちづくりの拠点施設としての役割をさらに向上させるため、にぎわい創出に寄与する情報発信機能の充実を図っていく。また、歴史的な遺産でもあることから、施設の適切な維持管理に努めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	指定管理者と連携し、適切な施設管理に努めるとともに、自主事業の運営などにより、人と情報の交流によるさらなるにぎわいの創出が図られるよう事業展開していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0271
 評価年度 令和 3年度
 所属 1314
 事務事業番号 02394

進捗区分 評価完了
 都市計画部都市魅力づくり推進課
 歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業

所属長名 中井 英紀
 記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	018	古都にふさわしい景観づくり				
取組の方向性	001	次代に引き継ぐ景観づくり				
事務事業	005	歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、大津市歴史的風致維持向上計画					
事業概要	(事業概要) 都市計画マスタープランのまちづくりの目標に掲げている「古都大津の自然、歴史、文化を生かした魅力あふれるまちづくり」の実現に向けて、市内各所に分布する自然、歴史、文化を地域固有の財産として保全、活用し、歴史的風致が後世へ良好に継承されるよう、「大津市歴史的風致維持向上計画」に基づく事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本市においても、社寺や町家などの歴史的建造物や地域の人々が受け継いできた風習や行事などの本市特有の歴史や文化が、生活様式の多様化や社会環境の変化に伴う後継者不足などにより、喪失する恐れが生じている。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度から平成29年度にかけて基礎調査を実施し、平成30年度から令和2年度までの3か年で「大津市歴史的風致維持向上計画」を策定した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市域全域を対象に
目的(何のために)	歴史的風致の維持向上を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	歴史的風致の維持及び向上に資する事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	歴史文化を活かしたまちづくりが一層推進され、本市の自然・歴史・文化に対する地域住民のさらなる意識の醸成を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	28,095	13,940	21,704	32,879	32,879	23,879	23,879
事業費	15,795	570	9,534	20,709	20,709	11,709	11,709
国庫支出金	0	0	2,250	9,000	9,000	4,500	4,500
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,795	570	7,284	11,709	11,709	7,209	7,209
人件費計	12,300	13,370	12,170	12,170	12,170	12,170	12,170
事務・技術(人)	1.50	1.40	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0271
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1314 都市計画部都市魅力づくり推進課
 事務事業番号 02394 歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-06-00-19-00	歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業費	都市計画部都市魅力づくり推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 地域人材活躍に対する支援事業実施回数	回	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) まちなみ修景整備に係る補助件数	件数	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	住民主体の取組に市が支援することは重要である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	成果指標は市補助制度利用予定者の工期等の調整により無かった。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	住民主体の取組に人的財政的支援をすることは効率性がある。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	計画の推進により、古都にふさわしい景観づくりが推進される。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	策定した歴史的風致維持向上計画に基づく事業を、地域の意見も踏まえて順次実施していくことで、本計画並びに大津の歴史的な魅力の周知・啓発を図るとともに、歴史まちづくりに対する地域住民の機運を醸成していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市歴史的風致維持向上計画に基づく事業を推進し、歴史や文化、それらを取り巻く伝統行事など人々の営みを活かしたまちづくりを推進する。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0272
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1809 都市計画部公園緑地課
 事務事業番号 00008 児童遊園地維持管理事業

所属長名 高野 隆介
 記入者 矢野 憲悟

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	002	里地里山等の保全・再生				
事務事業	004	児童遊園地維持管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法、都市計画法					
事業概要	(事業概要) 児童厚生施設に準じた遊び場として618箇所、概ね1,000㎡以下の小規模な公園を児童遊園地として位置付け、安全管理を最優先とし、地域の協力を得て快適な遊び場となるよう整備・維持管理に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子どもたちが、日常から利用する児童遊園地では、施設や遊具に対し高いレベルでの安全確保が求められている。また、少子高齢化など社会状況の変化に伴い、市民ニーズを反映したあり方検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 職員による日常点検に加え、専門業者による遊具点検を実施し、劣化が進行した遊具の修繕等を行ってきた。また、各公園の利用実態調査を踏まえて、児童遊園地のあり方検討を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子ども
目的(何のために)	生活や遊びの中で自主性や社会性を育てるため。
手段(どのようなやり方で)	都市公園における遊具の安全確保に関する指針を遵守し、日々点検・対応している。
成果(どのような状態にするのか)	安全で快適に遊ぶことができ、地域コミュニティを形成する場所となる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	89,701	83,874	107,898	116,141	116,641	117,141	117,641
事業費	56,654	59,134	79,970	88,213	88,713	89,213	89,713
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	660	1,390	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830
一般財源	55,994	57,744	78,140	86,383	86,883	87,383	87,883
人件費計	33,047	24,740	27,928	27,928	27,928	27,928	27,928
事務・技術(人)	1.93	0.90	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務(人)	1.80	2.00	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.74	1.40	2.08	2.08	2.08	2.08	2.08
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0272
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1809 都市計画部公園緑地課
 事務事業番号 00008 児童遊園地維持管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-75-00	児童遊園地維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)市内児童遊園地数	箇所	605.00	623.00	620.00	617.00	613.00	605.00	597.00	
		615.00	618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)遊具等の安全点検箇所数	箇所	605.00	623.00	620.00	617.00	613.00	605.00	597.00	
		615.00	618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)安全性の確保（事故発生件数）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)令和2年度は修繕遊具数、令和3年度以降は適正化箇所数	基	95.00	3.00	3.00	4.00	8.00	8.00	8.00	
		26.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	少子高齢化で、子どもが減少している地域では、利用頻度が低い児童遊園地もあることから、各公園の利用実態調査を踏まえ、地域にとって適切な管理方法等について、市民と市との協働によるモデル事業に着手する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	児童遊園地の配置や、個々の児童遊園地のあり方とその効果的な維持管理方法について、地域団体とモデル事業を進めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0273
 評価年度 令和 3年度
 所属 1809
 事務事業番号 01109

進捗区分 評価完了
 都市計画部公園緑地課
 都市公園緑地施設等維持管理事業

所属長名 高野 隆介
 記入者 山本 芳輝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	033	社会状況の変化に対応した持続可能な都市経営				
取組の方向性	001	行財政改革と効率的な行財政運営				
事務事業	058	都市公園緑地施設等維持管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	都市公園法、大津市都市公園条例					
事業概要	(事業概要) 都市公園、緑地等に指定管理者制度を導入することにより、民間事業者の知識と経験を活かし、適正な管理運営に努めている。指定管理者は、各々の施設の特色を活かした運営を図るとともに、市民サービスの向上や利用促進に努めている。運動施設等維持管理運営事業を含む。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 公園施設の老朽化等により維持管理費が増加する中、多様な市民ニーズへの対応が求められている。 (見直しや改善等の経過) 公園施設の維持管理は専門性が高く、迅速な対応が必要となる。一方で、業務の効率化も求められることから、指定管理者制度による維持管理を進めてきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	すべての都市公園、緑地等を対象に
目的(何のために)	快適で安全な利用のため
手段(どのようなやり方で)	都市公園の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間事業者の知識と経験を活用しながら適正な維持管理を行うこと
成果(どのような状態にするのか)	水や緑を生かした憩いの空間を利用者に提供するとともに、にぎわいを創出する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	925,060	789,385	811,759	844,239	832,581	833,381	833,781
事業費	881,380	759,929	780,491	812,971	801,313	802,113	802,513
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,108	1,239	1,108	1,108	1,108	1,108	1,108
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,753	2,926	2,765	8,520	8,520	8,520	8,520
一般財源	871,519	755,764	776,618	803,343	791,685	792,485	792,885
人件費計	43,680	29,456	31,268	31,268	31,268	31,268	31,268
事務・技術(人)	4.96	3.00	2.60	2.60	2.60	2.60	2.60
技能労務(人)	0.20	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
再任用(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	0.55	1.76	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08
嘱託(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

818 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0273
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1809 都市計画部公園緑地課
 事務事業番号 01109 都市公園緑地施設等維持管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-04-00	都市公園緑地施設等維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)定期清掃、除草等実施回数	回	15,000.00	20,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		26,748.00	26,533.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)運動施設の利用者数	人	97.00	600,000.00	600,000.00	600,000.00	600,000.00	600,000.00	600,000.00	
		97.00	531,573.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)利用料金収入額(運動施設)	千円	245,287.00	248,911.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	
		180,274.00	205,798.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)意見対応件数	件	850.00	850.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,388.00	1,532.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も指定管理者制度を活用し、安全・安心な都市公園の維持管理に努め、きめ細かな対応と満足度の高い管理運営を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	安全・安心な都市公園の維持管理のため、民間事業者の技術・知識を活かした指定管理者制度を維持する。効果や成果については、モニタリングを通じて検証をおこなっていく。		

事務事業評価シート（1/2）

820 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0274
 評価年度 令和 3年度
 所属 1809
 事務事業番号 02059

進捗区分 評価完了
 都市計画部公園緑地課
 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

所属長名 高野 隆介
 記入者 不破 洋史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	002	里地里山等の保全・再生				
事務事業	003	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	都市公園法 大津市都市公園条例					
事業概要	(事業概要) 安心安全な公園づくりを目指し、広域避難地等に指定されている公園の施設等の改修を行う。そのために公園施設長寿命化計画を策定し、施設更新の計画を定めていく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 多くの公園施設が老朽化しているため、計画的な更新が必要となっているが、一施設の改修にかかる経費が多額であることから、全施設の改修を進めるにあたっては、計画的にすすめていくことが必要である。 (見直しや改善等の経過) 改修費用に国庫補助金を活用し、計画的な施設の更新に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	都市公園内の公園施設を
目的(何のために)	安心で安全な、公園をつくるために
手段(どのようなやり方で)	長寿命化計画を策定し、施設の更新の計画を立て
成果(どのような状態にするのか)	計画に沿って改修工事を行っていくことにより施設の安全確保とライフサイクルコスト削減を図る

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	71,951	197,885	42,781	127,200	153,700	131,600	136,200
事業費	60,635	187,485	31,581	116,000	142,500	120,400	125,000
国庫支出金	30,000	92,169	15,790	58,000	71,250	60,200	62,500
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	27,000	72,800	14,200	52,200	64,100	54,100	56,200
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,635	22,516	1,591	5,800	7,150	6,100	6,300
人件費計	11,316	10,400	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
事務・技術(人)	1.38	1.30	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0274
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1809 都市計画部公園緑地課
 事務事業番号 02059 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-36-00-01-00	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業費	都市計画部公園緑地課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)公園施設長寿命化計画の更新公園数	箇所	0.00	63.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		2.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)改修工事の実施箇所数	箇所	37.00	38.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		38.00	42.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)改修工事の実施割合	パーセント	37.00	38.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	計画的な公園施設の更新は、市民の憩いや賑わいに寄与する。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	多くの市民や団体が安心・安全に末永く利用できる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	長寿命化計画の策定は、ライフサイクルコストの削減に寄与する。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	公園施設を計画的に更新することで、利用者の安全を確保できた。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	大津湖岸なぎさ公園の園路舗装等、公園施設の改築更新を行い、利用者の安全性や利便性を高める。また、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助など財源の確保に努め、公園施設の改築更新を行う。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修を行い、安全安心な公園づくりに努めていくとともに、公園施設の適切な維持管理を行っていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0275
 評価年度 令和 3年度
 所属 1809
 事務事業番号 02397

進捗区分 評価完了
 都市計画部公園緑地課
 公園愛護会管理運営事業

所属長名 高野 隆介
 記入者 山本 芳輝

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	004 つながり大切に、共に支えあうまちにします		
施策	011 協働のまちづくりの推進		
取組の方向性	002 協働の推進		
事務事業	001 公園愛護会管理運営事業		
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	都市公園法 大津市都市公園条例		
事業概要	(事業概要) 公園愛護会（地域の自治会などの団体）に、公園管理者との役割分担のうえ、地域にある都市公園の清掃活動に自主的に取り組んでもらう。都市公園緑地施設等維持管理事業より分離した。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 地域の公園を自分達で管理しようと公園愛護会への新たな加入がある一方で、愛護会会員の高齢化等により退会や解散する団体もある。 (見直しや改善等の経過) 公園愛護会と都市公園の指定管理者が連携を図ることで、公園の維持管理が充実している。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の自治会が承認する団体に対して、
目的(何のために)	地域にある都市公園を美しく維持するために、
手段(どのようなやり方で)	清掃活動した実績に応じて報償費を支払うことで、
成果(どのような状態にするのか)	公園の美化を維持するとともに、市民協働で公園管理を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,758	6,271	7,776	7,827	7,827	7,827	7,827
事業費	5,966	5,871	6,976	7,027	7,027	7,027	7,027
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,966	5,871	6,976	7,027	7,027	7,027	7,027
人件費計	3,792	400	800	800	800	800	800
事務・技術(人)	0.44	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

824 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0275
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1809 都市計画部公園緑地課
 事務事業番号 02397 公園愛護会管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-05-00	協働による維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)公園愛護会数	団体	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		102.00	103.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)公園愛護会が清掃活動する公園数	公園	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		120.00	106.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域の自治会が承認する団体が活動しており、妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	登録団体の伸び悩みにより、成果は横ばいである。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	月1回以上の清掃活動を実施しており、公園の美観が保たれている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	協働による公園管理により、協力してまちづくりに取りくめている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公園愛護会の活動は、市民と行政の協働の推進や地域住民のつながりの場としても重要であるが、新たな登録団体の伸び悩みや既存団体の高齢化が進んでおり、施策の持続可能性について、検討が必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	公園愛護会の活動は、公園の維持管理に大きな役割を担っており、今後も支援を実施していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0276
 評価年度 令和 3年度
 所属 1810
 事務事業番号 00984

進捗区分 評価完了
 都市計画部住宅課
 住宅管理事業

所属長名 川添 信昭
 記入者 吉田 靖洋

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	001	市営住宅の適正管理				
事務事業	001	住宅管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	公営住宅法					
事業概要	(事業概要) 住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の市営住宅を供給する。 管理戸数 2, 9 4 1 戸（改良住宅 3 8 6 戸、特定の条件を付した特定公共賃貸住宅 4 9 戸を含む）を対象とする。 入居者の選考、不正入居者の対応、システム管理など市営住宅の管理に係る事業を実施している。また、令和 2 年度から指定管理者制度を導入しており、モニタリングを通じて適正な運用を図っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市営住宅の新規入居戸数は減少傾向にあるものの、少子高齢化や家族構成の複雑化に伴い、高齢者や一人親家庭、単身世帯などの住宅確保要配慮者への、低廉な住宅の供給が必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 平成 2 9 年 1 0 月より試験的修繕等業務委託を実施、令和 2 年度から市営住宅の管理全般について指定管理者制度を導入したことから、モニタリングによる評価を実施し、市営住宅の適正な管理を進めている。令和 4 年度に指定管理者の指定期間が満了することから、新たな指定管理者を選定する。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住又は在勤の住宅に困窮している低額所得者。
目的(何のために)	住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の住宅を供給する。
手段(どのようなやり方で)	年 8 回、空家募集を行い、指定管理制度により市営住宅の適正な管理を行う。
成果(どのような状態にするのか)	住宅に困窮する低額所得者に対する住宅確保と社会福祉の増進に寄与。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	272,324	266,981	271,300	296,254	308,005	316,885	321,885
事業費	238,795	235,693	239,372	261,526	273,277	282,157	287,157
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	10,300	0	0	0	0	0	0
その他	228,495	235,693	239,372	261,526	273,277	282,157	287,157
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	33,529	31,288	31,928	34,728	34,728	34,728	34,728
事務・技術(人)	3.43	3.57	3.65	4.00	4.00	4.00	4.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.76	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0276
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1810 都市計画部住宅課
 事務事業番号 00984 住宅管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-25-05-16-00-01-00	住宅管理事業費	都市計画部住宅課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)管理戸数	戸	2,942.00	2,941.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		2,941.00	2,941.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)募集戸数	戸	110.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	
		127.00	122.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)特定目的住宅整備戸数	戸	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
		15.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)市営住宅の新規入居戸数（年4回）	戸	110.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		67.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	住宅に困窮する低額所得者に市営住宅を提供することができているが、入居戸数の減少が見られるため空家募集の効果的な周知や特定目的住宅の整備に一層努める。また、令和2年度から指定管理者制度を導入し、2年が経過したが、引き続きモニタリングを実施し、市営住宅の適正な管理を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市営住宅の空き家募集を年8回行い、住宅に困窮する低額所得者に市営住宅を供給するとともに、より困窮度が高い住宅確保要配慮者が優先的に入居できる特定目的住宅の拡充に努めた。また、令和2年度より指定管理者制度を導入しており、モニタリングを通じて市営住宅の適正な管理を進め、管理コストの削減と住環境の向上を図る。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0277
 評価年度 令和 3年度
 所属 1318
 事務事業番号 02654

進捗区分 評価完了
 都市計画部空家対策推進室
 空家等対策事業

所属長名 川添 信昭
 記入者 和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	002	空き家の適正管理と有効活用				
事務事業	001	空家等対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	空き家等対策の推進に関する特別措置法					
事業概要	(事業概要) 人口減少・少子高齢化等を背景に、近年空き家の増加による地域の住環境やコミュニティへの影響が深刻化してきている。このことから、空家等対策の推進に向け、「予防」及び「適正管理」並びに「利活用」について、総合的かつ計画的に事業を進め、良好な住環境の確保及び持続可能なまちづくりに寄与することを目的とする。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成27年に空家対策特措法が施行され、また、税制度の特別措置がとられるなか、国の制度等が拡充されていることから、計画的かつ総合的な空家等対策が求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度に法律を補完する大津市空家等適正管理条例を制定し、指導等事務の強化を図ってきた。また、平成29年度には、空家等に関する対策を総合的に推進するため大津市空家等対策計画を策定した。今後も法や条例に基づき、空家対策を進めていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	空き家等の所有者、地域住民及び関連事業者団体等
目的(何のために)	空き家等の適正管理及び有効利活用の促進
手段(どのようなやり方で)	管理不全な有害空家等に関する改善指導等、官民連携の体制構築、地域主体の空き家等対策の取り組み支援
成果(どのような状態にするのか)	管理不全な有害空家等をなくし、定住促進やまちの賑わい創出に寄与する空き家等の利活用が図られる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	28,958	25,748	28,216	33,488	33,488	33,488	33,488
事業費	1,497	1,892	4,360	4,360	4,360	4,360	4,360
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	399	435	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	184	254	263	263	263	263
一般財源	1,091	1,273	3,106	3,097	3,097	3,097	3,097
人件費計	27,461	23,856	23,856	29,128	29,128	29,128	29,128
事務・技術(人)	2.30	2.30	2.30	3.30	3.30	3.30	3.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	1.76	1.76	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

830 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0277
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1318 都市計画部空家対策推進室
 事務事業番号 02654 空家等対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-05-15-06-00-16-00	空家等対策事業費	都市計画部住宅課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)空き家等パトロール・現場調査の回数	回	60.00	60.00	72.00	72.00	72.00	72.00	72.00	
		71.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)管理不全な有害空家等の指導方針確定率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	
		72.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	現在まで、通報から所有者に通知を送るまでの期間を短くする事務改善やGISの活用など事務処理の迅速化に努めることにより、成果指標である「管理不全な有害空家等の指導方針確定率」が向上している。令和3年度においても同水準の率で実施している。今後も引き続き、計画に基づき、更なる事業の遂行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	「大津市空家等対策計画」に基づき、管理不全空家の所有者等に対し、適正な管理を促す情報提供・助言や指導を行う。また拡充した定住促進リフォーム補助金及び空家バンクの運用に取り組むとともに、空家対策に地域の体制づくりを支援するなど、空き家の利活用・流通を推進する。さらに関係各課等との連携を図り、様々な媒体を活用し、空き家発生の予防に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

832 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0278
評価年度 令和 3年度
所属 1309
事務事業番号 00212

進捗区分 評価完了
都市計画部建築指導課
耐震改修促進事業

所属長名 泉 良尚
記入者 渡利 真悟

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	001	災害に対するまちの安全性の確保				
事務事業	001	耐震改修促進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱等				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>旧の耐震診断基準で建築された昭和56年以前の民間建築物に対して耐震診断に要する費用の一部を補助、木造住宅耐震診断員を派遣し耐震診断及び耐震補強案の作成を実施及び木造住宅の耐震改修等費用の一部を補助する事業の実施により、既存建築物の耐震性能の向上を図る。また避難路沿道に存するブロック塀撤去等の一部を補助する事業を実施し、災害時の倒壊被害の防止を図っている。</p> <p>上記支援事業及び市民への耐震化の重要性を周知啓発することにより、市民の防災に対する意識の向上を促すとともに、建築物の安全性を向上させ、災害に強いまちをつくることを目標とする。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>震度5クラスの中規模地震が全国各地で頻発し、防災に対する意識が全国的に高まっている。耐震診断の義務付け等法の整備も後押しとなり民間建築物の耐震化が促進されている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>更なる耐震化促進のため令和2年度から木造住宅耐震補強案作成事業を、令和3年度から木造住宅耐震改修等事業をそれぞれ再開したほか、令和3年度より新たにブロック塀撤去等促進事業を開始し、耐震化支援のための制度の充実を図っている。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	昭和56年以前に建てられた民間建築物において
目的(何のために)	民間建築物の耐震性の向上を図るために
手段(どのようなやり方で)	建築物の所有者等が行なう耐震診断の費用の一部を補助、木造住宅耐震診断のための耐震診断員の派遣、木造住宅の耐震改修費用の一部を補助及び避難路に存するブロック塀撤去等の費用の一部を補助することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民の防災に対する意識の向上を促すとともに、建築物の安全性を向上させ、災害に強いまちをつくる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		11,299	9,703	15,611	16,653	25,114	27,754	20,574
事業費		6,461	2,903	7,851	8,893	14,074	16,074	8,894
国庫支出金		3,213	1,370	3,765	4,115	6,655	7,655	4,115
県支出金		176	709	1,806	2,131	2,451	2,451	2,131
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,072	824	2,280	2,647	4,968	5,968	2,648
人件費計		4,838	6,800	7,760	7,760	11,040	11,680	11,680
事務・技術(人)		0.59	0.85	0.97	0.97	1.38	1.46	1.46
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0278
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1309 都市計画部建築指導課
 事務事業番号 00212 耐震改修促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-05-15-06-00-06-00	耐震改修促進事業費	都市計画部建築指導課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 特定建築物の補助件数	件	1.00	1,200.00	1,100.00	1,000.00	1,000.00	900.00	900.00	
		0.00	1,230.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 住宅の補助件数 (非木造等)	件	1.00	10.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 特定建築物の耐震改修実施件数	件	0.00	10.00	15.00	15.00	20.00	20.00	15.00	
		1.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 住宅の耐震改修実施件数 (木造)	件	0.00	5.00	5.00	10.00	12.00	12.00	10.00	
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市国土強靱化地域計画及び大津市既存建築物耐震改修促進計画に基づき既存建築物の更なる耐震化を促進するため、再開、拡充した現在の事業を継続して実施するとともに、市民や建物所有者への直接的な働きかけや周知啓発をさらに推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市既存建築物耐震改修促進計画に定める耐震化率達成に向けて、アクションプログラム2022に基づき周知啓発を行うとともに、各支援・補助事業の年度当初における目標件数を達成し適正な予算執行を図る。		

